



**Living Space Innovator**®

(写真) 当社商品による秋冬物クロス・マーチャндаイジングの実例

**株式会社ジョイフル本田** (証券コード3191)

2021年11月2日

## ➤ 営業利益率は高水準の9.4%(2四半期連続)

- ・ 超大型店舗ならではの新たな「生活提案」によるマージン向上
- ・ 営業現場の生産性向上に加え、全社テレワークの継続で効率化

## ➤ 資本効率向上施策の実行

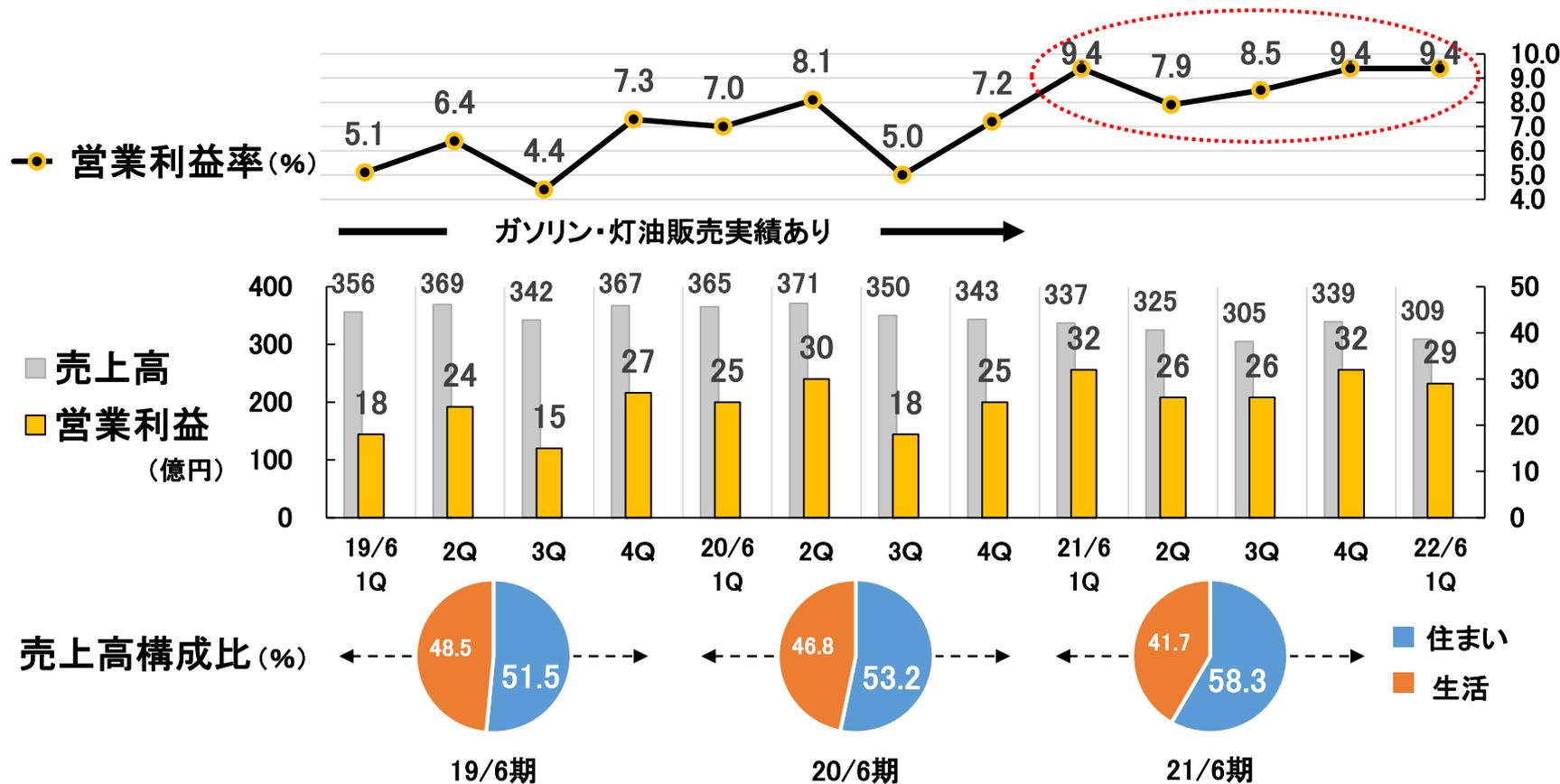
- ・ 自己株式の消却(発行済株式総数の約3割)
- ・ 自己株式の取得を開始(上限50億円)

### <当資料の前提>

- ・ 22/6期の決算業績対象範囲を基本とし、実質比較のため、それ以前も同じ業績対象範囲で算出した数値で記載
- ・ 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、実質比較のため、それ以前も同じ基準で算出した数値で記載
- ・ 上記により、過年度の数値は決算短信に記載の数値とは一部異なる

※ 詳細は適時開示(2021年8月3日、9月16日、10月5日、11月2日)の通り

## ➤ 時系列的推移で「稼げる力」が底堅くアップ



※ 億円は、千万円単位を四捨五入

# 損益計算書

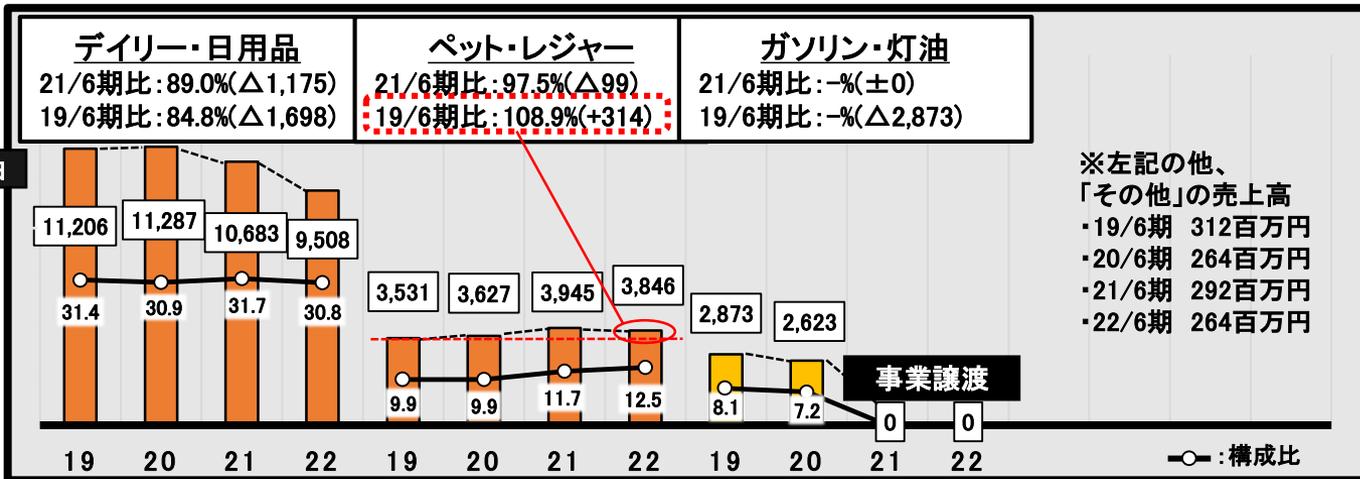
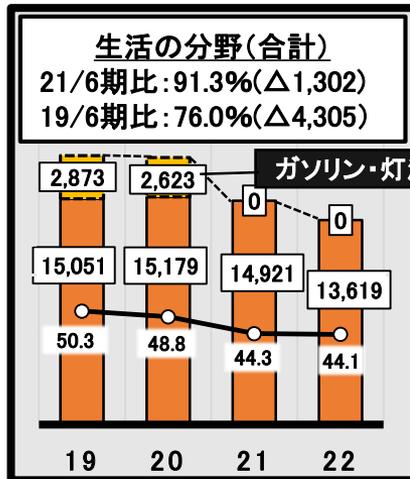
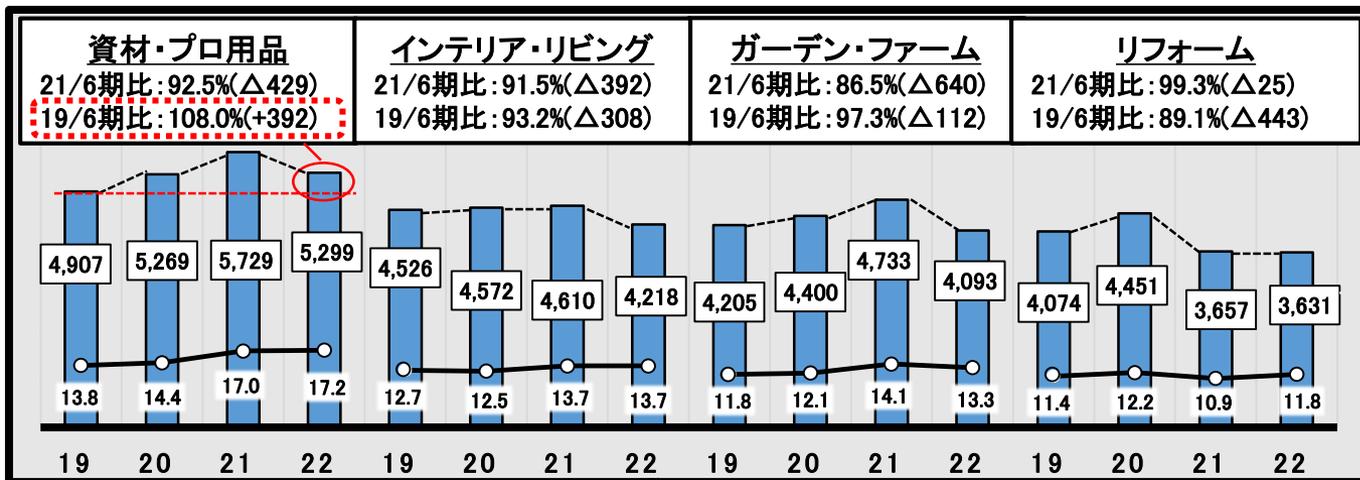
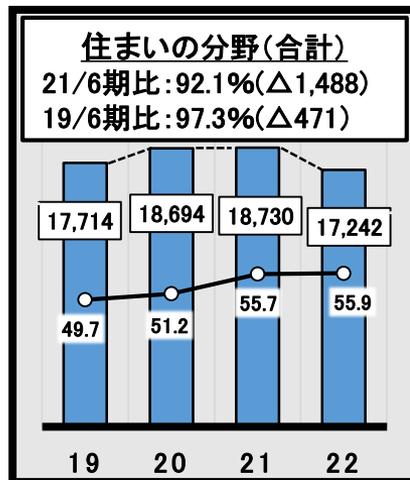
- 気象激甚・コロナ禍の環境下で、高粗利商品群を集中的に拡大強化
- トップライン成長の経営課題は、店舗開発力の強化により挑戦継続

実質比較	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	上期予想 進捗率(%)	19/6期比		20/6期比		21/6期比	
						金額	%	金額	%	金額	%
売上高	35,638 (100.0%)	36,497 (100.0%)	33,652 (100.0%)	30,862 (100.0%)	46.1%	△4,776	86.6%	△5,635	84.6%	△2,790	91.7%
売上総利益	9,516 (26.7%)	9,967 (27.3%)	10,385 (30.9%)	9,672 (31.3%)	45.6%	+155	101.6%	△295	97.0%	△713	93.1%
営業収入	1,320 (3.7%)	1,338 (3.7%)	1,315 (3.9%)	1,345 (4.4%)	49.8%	+24	101.9%	+7	100.6%	+29	102.3%
営業総利益	10,837 (30.4%)	11,305 (31.0%)	11,701 (34.8%)	11,017 (35.7%)	46.1%	+180	101.7%	△287	97.5%	△683	94.2%
販管費	9,014 (25.3%)	8,759 (24.0%)	8,525 (25.3%)	8,108 (26.3%)	45.8%	△906	89.9%	△650	92.6%	△417	95.1%
営業利益	1,822 (5.1%)	2,546 (7.0%)	3,175 (9.4%)	2,909 (9.4%)	46.9%	+1,086	159.6%	+363	114.3%	△266	91.6%
経常利益	2,158 (6.1%)	2,761 (7.6%)	3,406 (10.1%)	3,196 (10.4%)	48.4%	+1,038	148.1%	+434	115.7%	△210	93.8%
四半期純利益	1,464 (4.1%)	1,864 (5.1%)	2,354 (7.0%)	2,210 (7.2%)	48.1%	+746	151.0%	+346	118.6%	△143	93.9%
売上高 (G・灯油除く)	32,765	33,874	33,652	30,862	46.1%	△1,903	94.2%	△3,012	91.1%	△2,790	91.7%

※単位:百万円、%、( )内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入、以下の頁も同じ

# 商品グループ別売上高・売上高構成比

- オリジナル商品開発専従新設 → 「痛快商品」を「痛快価格」で提供
- 特殊要因ない19/6期比では、資材・プロ用品、ペット・レジャーが増収

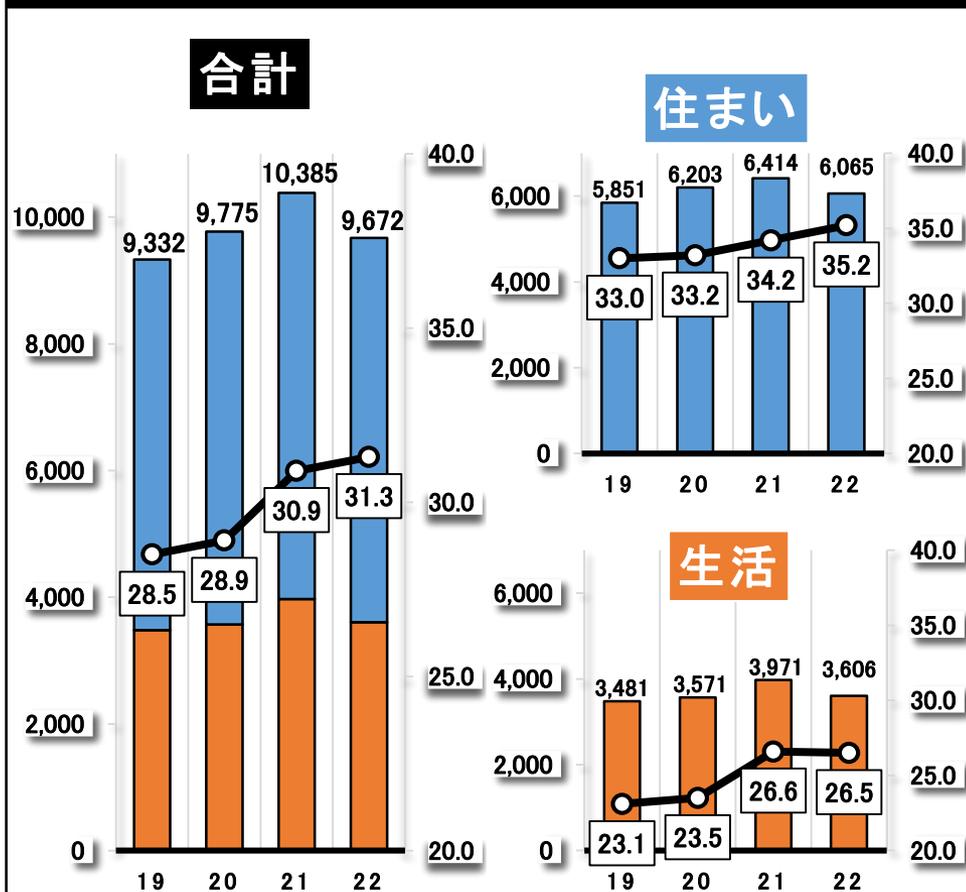


○ : 構成比

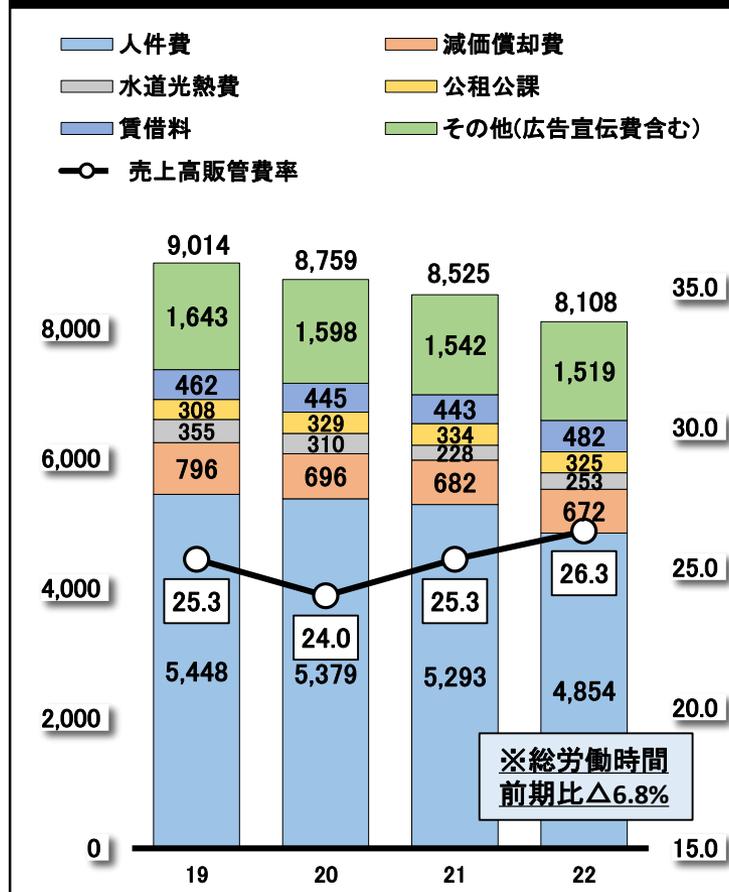
# 売上総利益および販管費

- 「必要必在」「生活提案」の新ミッション周知徹底が粗利率改善に奏功
- 購買シーンにマッチしたデジタルの活用(SNS、電子決済、サイネージetc.)

## 売上総利益(ガソリン・灯油除く)



## 販管費



# 設備投資及び減価償却費、キャッシュフロー

## 1. 設備投資及び減価償却費

	実績				コメント	予想
	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期		22/6期
設備投資	327	777	411	537	・新店投資(吉岡店出店に伴う費用) ・IT投資(dポイント導入、基幹システム統合等)	5,693
減価償却費	796	696	682	674	・減価償却費は漸減	2,915

## 2. キャッシュフロー

	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	主な内訳
営業活動によるCF	3,640	3,153	1,804	△691	・税引前四半期純利益+3,189 ・法人税等の支払△2,271 ・その他営業負債の増減(賞与支払時期見直し)△1,774
投資活動によるCF	△2,943	2,580	1,399	△706	・有形・無形固定資産の取得支出△539
財務活動によるCF	3,009	△2,658	△2,356	△2,381	・長期借入金の返済支出△1,099 ・配当金の支払△1,251
現金及び現金同等物の増減額	3,706	3,075	847	△3,779	上記CFの合計
現金及び現金同等物の期末残高	19,470	30,173	38,723	41,715	現金及び現金同等物の増加分を反映

# 貸借対照表

	21/6期 1Q末 A	21/6期 期末 B	22/6期 1Q末 C	前年 同期末比 C-A	前期末比 C-B	コメント (対前期末比)	
資産の部	流動資産	58,740	64,993	62,264	+3,523	△2,729	・現金及び預金が減少 ・商品在庫は低位安定
	現金及び預金	38,761	45,533	41,753	+2,992	△3,779	
	売掛金 ※1	2,957	3,268	3,316	+358	+48	
	商品 ※2	15,827	14,352	15,101	△726	+749	
	固定資産	98,564	95,612	95,147	△3,417	△464	
	資産合計	157,304	160,606	157,411	+106	△3,194	
負債・純資産の部	流動負債	21,017	22,284	19,181	△1,835	△3,103	・流動負債の減少は未払法人税納付と未払賞与支給(支払時期見直し) ・長期借入金の約定返済で固定負債が減少 ・配当指標の株主資本は安定的に増加
	買掛金	8,429	6,925	7,418	△1,010	+493	
	短期借入金	0	0	0	0	0	
	1年内返済予定の長期借入金	4,397	4,401	4,401	+4	0	
	固定負債	28,788	25,636	24,475	△4,313	△1,161	
	長期借入金	19,641	16,339	15,240	△4,401	△1,099	
	負債合計	49,805	47,921	43,656	△6,149	△4,264	
	株主資本合計	105,994	111,554	112,538	+6,544	+984	
	純資産合計	107,499	112,684	113,754	+6,255	+1,070	
負債・純資産合計	157,304	160,606	157,411	+106	△3,194		

※1 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、売掛金には契約資産を含む。

※2 商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む。

# 株主還元

- 発行済株式総数の5%を残し、保有する自己株式の全てを消却(8月)
- 自己株式の取得枠を設定し、取得を開始(9月)

## 【自己株式の消却】

- 株主還元の拡充および将来の希薄化懸念の払拭を図る目的
- 消却した株式の種類と総数: 当社普通株式29,876,849株  
(消却前の発行済株式総数に対する割合28.94%)
- 消却日: 2021年8月20日
- 消却後の発行済株式総数: 73,348,911株
- 消却後の自己株式数: 3,667,500株 (消却後の発行済株式総数に対する割合5.00%)

## 【自己株式の取得】

- 資本効率を高め、1株当たり利益の増大を図る目的
- 自己株式の取得を機動的かつ継続的に実行するため、取得枠を設定
- 取得し得る株式の総数: 400万株(上限)(発行済株式総数に対する割合5.74%)
- 取得価額の総額: 50億円(上限)
- 2021年9月17日～2022年6月20日

# 免責事項

## 将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2021年11月2日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果がある点を確認された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。